

地域とともに歩む学校

「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育
問い合わせ 学校教育課学務担当

市では、市内全ての小・中学校で、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を進めています。

1 地区ごとに小学校・中学校・公民館が1つずつあることや、地域の協力が強いという市の特色を生かし、義務教育9年間を見通した学校教育を行っています。



日高市小中学校未来構想

子どもは学校で学び、家庭でつ
け、地域で育てると言われています。

子どもの数が多かった頃は、公園や広場に行くと小さな子から大きな子までが一緒になって遊んでいました。そして、上級生が下級生のお手本となり遊びを教え、下級生はその姿を見て「いつかこのお兄ちゃん、お姉ちゃんのようにになりたい」と憧れを抱いていました。そこには、学びがありました。

日高市の小・中学校の未来構想は、「小さな子から大きな子までが一緒に遊び・学ぶ」、そして「おらが地域の学校でおらが地域の宝である子どもたちを育てる」という地域の絆から生まれています。

今後は、コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育を推進する学校で、地域が支えとなり、尊敬する中学生を目指す小学生、下級生を大切にする中学生を育てます。



「コミュニティ・スクールとは

「学校運営協議会制度を導入した学校」のことです。

学校運営協議会では、教育委員会から任命された保護者や地域の皆さんが学校運営について話し合っています。市では、各学区で1つ(合計6つ)の学校運営協議会を設置しています。

「地域に開かれた学校」をさらに進め、「どんな子どもを育てるか、何を実現していくか」という目標・ビジョンを地域と学校が共有し、一体となって子どもたちを育む、「地域とともに歩む学校」を目指しています。

小中一貫教育とは

目指す15歳像を共有し、9年間一貫した教育課程を行う学校制度です。

メリット

○異学年交流を工夫することで、自己肯定感が向上し、思いやりや助け合いの気持ちが育成されます

○指導の一貫性が保たれることで、学校生活が充実します

○中1ギャップが緩和され、不登校・いじめ・暴力行為・中学校進学に不安を抱える生徒が減少します

○より多くの教員等が生徒に関わることで、授業の理解度が向上し、学習に悩みを抱える生徒が減少します



各学校区では、地域の特色を生かした教育の推進に向けて、協議を重ね、実践しています。

各学校区での実際の取り組みの様子は、順次お知らせします。